

つれづれなるまゝに 第21号

令和2年12月23日（水）発行



校長 深谷 浩一

令和2年中央10大ニュース！ コロナ禍と格闘した1年！

今年も残すところ、1週間あまりとなりました。1月の韓国研修旅行の頃から中国でのコロナ感染が始まり、2月から学校「休校」の事態となり3月の卒業式、4月の入学式は出席者の人数を制限するなどしてやっと式は行えたものの、新学期の授業が始まってすぐにコロナの感染拡大に伴い全県的な休校となってしまう、授業も行事も行うことができず、生徒にとっても先生にとっても大変な時期となってしまいました。

その後6月まで休校が長引き、新入生の中にはその間に体調を崩して休校が解除された後も容易に登校することができなくなってしまった生徒もいます。

しかしながら、そんな悲慘な状況にあっても、何とか行うことができた行事や大会もあります。楽しかった出来事もありました。そうした出来事に思いをはせながら4月からの9ヶ月間を振り返ってみたいと思います。

昨年にならい、一応「2020 中央高校10大ニュース！」としていますが、行事や大会については、今年は実施できただけでもありがたいので、「大きなニュース順」というより、「コロナ禍のこんな状況の中でも頑張りました！」順に近いので、順位は参考までに見てください。

それでは、第1位から見ていきましょう。

第1位 2年5組完全制覇！ ～クラスマッチ，全種目で優勝！～

台風の影響で延期となっていたクラスマッチが10月14日（水）、5日遅れで開催されました。コロナ感染防止の観点から、「体育館での試合観戦は自分のクラスに限る」などの制約の中で実施することができました。

このクラスマッチの中で奇跡が起こりました。2年5組が「出場した5種目（バ



スケットボール（男子），バレーボール（男子），サッカー，バレーボール（女子），リレー）すべてで優勝するという快挙」を成し遂げたのです。これは開校以来の快挙でこれから先もまず起こりえないだろうと思われます。きっと神様が，コロナ禍の中で厳しい生活を余儀なくされている皆さんに「絶対忘れないよ

うなすごいこと」を2年5組の力を借りて見せてくれたのではないのでしょうか。

第2位 運動部壮行会を開催！ ～代替試合に向けて3年生を激励！～

7月8日（水），コロナウィルス感染症防止のために実施できなかった高体連，高野連主催の代替大会に参加する3年生の運動部員に対して「運動部壮行会」を実施しました。感染症防止の観点から不安を感じた生徒の皆さんもいたかもしれませんが，本校では「学校再開ガイドライン」を遵守しながら，6月8日の学校再開以降，部活動の対応などについては「学校再開ガイドライン」で示した以上の対応を行ってきました。また，7月1日以降は，「学校再開ガイドライン」に基づき，全校集会については体育館で行うこととしました。



第3位 各部，代替試合で奮闘！

○水戸啓明に雪辱！～野球部～

野球部の代替試合はノーブルホーム水戸（旧水戸市民球場）を会場に7月12日に笠間高校と対戦しました。結果は本校の猛攻で24安打21得点を挙げて5回コールド勝ちを収めました。2回戦では優勝候補の水戸啓明高校と対戦しましたが、今度は逆にコールド負けを喫してしまいました。水戸啓明はこの後も勝ち上がり、結局4校優勝のうちの1校となったのです。

秋の大会（第73回秋季関東地区高等学校野球茨城県大会）の水戸地



区予選では1回戦 清真波崎神栖連合 を12対0で撃破した本校野球部は、代表決定戦で代替試合で敗れた水戸啓明高校 と再び対戦し、今度は3対2で勝利し、夏の雪辱を果たしてくれました。県大会では2回戦で霞ヶ浦高校に敗れてしまったものの、善戦してくれました。

柴沼監督は、今年の最高殊勲選手として、キャプテンの小松崎優人君（3年3組）を挙げて「コロナで休校中にチームをしっかりとまとめ、常に前を向く強いキャプテンとして周りに勇気を与えてくれた。」と評しています。

○関東新人県南A地区優勝！ ～男子バスケット部～

二回戦で3年生が最後の大会で敗れた土浦二高に104－51と快勝し、その勢いのまま決勝では霞ヶ浦高校を相手に86－59で勝って優勝を果たしました。現チームは10人以上が試合に出場し、全員でオールコートディフェンスをし相手を苦しめ、自分たちの流れを掴むスタイルを作り上げてきました。監督の佐藤先生は「その成果が発揮でき、全試合60点以下に相手を抑えられたことは良かった。」と評価しています。今後のチームに対して「まだまだ荒削りなので細かいところを修正し、県大会では上位進出をめざし、さらに練習に励んでほしい。」とエールを送っていました。

○ウィンターカップ出場権獲得！ ～女子バスケット部～

7月23日から25日に行われた地区予選で57対38で土浦三高を下した本校は、代表出場をかけて常総学院と戦い55対38でみごと勝利したのです。殊勲選手について尋ねられた監督の根反先生は、森山晴華さんと太田まひるさんの2名を挙げ、「森山はケガのため

コートに立つことはできなかったが、どんな時もチームメートに声をかけて強いキャプテンで続けた。太田はミスが少なく、チームに安心感をもたらした。」と讃え、「県ベスト8をかけた試合では惜敗したが後輩に多くのものを残した。」と今後のチームの成長に期待していました。

○春高バレー&新人戦 県南地区予選で優勝！～女子バレー部～

女子バレー部が10月2, 3日に稲敷市江戸崎総合体育館で開催された高校バレー県南地区予選兼県南選手権大会において、見事優勝し10月31日に行われた春高バレー県大会への出場権を獲得した。県大会では前年度優勝校の土浦日大と戦い0-2で敗れてしまいましたが、12月19日, 20日に石岡一高, 石岡二高で行われた新人戦県南地区予選も優勝し, 1月末に行われる新人戦県大会県ベスト8を目指して練習に励んでいます。「持っている力をすべて出し切れれば良い試合ができるはず」と顧問の吉田先生は話しています。



○3年生が意地を見せた選手権大会 ～サッカー部～

今年度は関東大会・インターハイが中止となり、何を目標にすれば良いのか選手もスタッフも悩んだシーズンでした。しかし、10月2日（金）から開催された手権大会茨城県大会では、3年生にとっての最後の大会でもあり、意地を見せてくれました。結果は以下の通りです。

1回戦 令和2年10月2日（金）会場 矢田部サッカー場

中央 2-0 下館第一（得点者 浅野 五十嵐）

2回戦 令和2年10月8日（木）会場 矢田部サッカー場

中央 0-2 波崎柳川

第4位 個人競技で好成績！

○佐藤稜介君， 剣道三段合格！ ～ 剣道部～

剣道部の佐藤稜介君（2年2組）が剣道三段の昇段試験に合格しました。顧問の岡田先生は「剣道三段は高校生の取れる最高段位で難関です。主将（キャプテン）としてのリーダーシップあり！文武両道で成績優秀の模範的な生徒です！」と語っています。「そのほかには、女子が県ベスト16に入りました。」と付け加えてくれました。

○5地区合同水泳大会で活躍！ ～ 水泳部～

水泳部では茨城県5地区合同高等学水泳競技会に出場した熊谷帆乃伽さん（1年5組），石井奈都美さん（2年1組），望月菜々香さん（2年4組）などが頑張っています。顧問の大崎先生によると、「冬は筋トレなどをメインで行っているためプールで泳ぐ機会は少ないですが，今回の大会では自己ベストを出した選手もいました。熊谷帆乃伽さんは50m自由形で30秒を切り調子が上がってきました。石井奈都美さんは安定感のある泳ぎができていました。リレーで絵も各自の泳ぎができ，良い雰囲気の中で終わることができました。」と評価し，さらに「冬の間さらに鍛えて体づくりに地理組んでいきたいです。」と来年に向けての抱負を語ってくれました。

○渡邊大樹君， 陸上100mで7位！ ～ 陸上部～

陸上部の渡邊大樹（3年5組）君は7月23日～26日に笠松運動公園競技場で開催された茨城県高等学校夏季陸上競技大会の男子100mで7位に入賞しました。指導にあたっている顧問の岩科先生は，「大会前日まで怪我で悩まされた中，自らウェイトなどで練習を工夫し大会当日では自己ベストを0.4秒近く更新し決勝に進出することができました。」と渡邊君の努力を讃えていました。

第5位 文化部も活躍！

○技術を後輩に伝える ～ 茶華道部～

活動が制限される中，３年生は１，２年生に自分たちが身につけた作法や技術をしっかり伝えてくれました。顧問の飯田先生は，「文化祭が中止となりましたが，行事ごと校内にお花を飾らせていただき，発表の機会を得ることができました。」と話していました。



○茨城空港ゆめ未来美術展に期待！ ～芸術部～



県南高校美術展は12月開催予定でしたが，県南で感染者が多数出たため中止になってしまいました。しかし，茨城空港ゆめ未来美術展には応募している生徒がおり，発表は２月です。

○コロナに負けずコンサート！ ～吹奏楽部～

吹奏楽部は今年度これまでに，入学式，運動部壮行会，３年生引退コンサート，クリスマスコンサートで演奏しました。新型コロナウイルスで文化祭や野球応援，総文祭が中止になり，例年よりも演奏の機会は減りましたが，少人数ながら地道に練習を重ね，校内コンサートでは多くの人に演奏を聴いていただくことができました。今は３月の卒業式に向けて，音楽の澤田先生にご指導いただきながら部員８名，顧問３名でがんばっています。



ここで8名の部員を紹介します。

3-1 溝口 綾乃さん、富田 夏歩さん、3-2 加藤 明莉さん、鈴木 かのんさん、
矢口 綾香さん 2-1 池田 甘夏さん、稲野辺 叶愛さん、大澤 果怜さん

○7月、3年生引退ライブコンサート！ ～軽音楽同好会～

校内文化祭が中止になってしまったので、発表の機会がありませんでしたが、7月31日の放課後にL教室で3年生の引退ライブコンサートを開催し、2年生のバンドが1曲、3年生のバンドが4曲を披露しました。50名程度の生徒が観に来てくれ、思い出深いライブになりました。

また、12月16日には部内発表会を開催。それに向けて練習を行いました。当日は1年生2バンドが演奏。初めてのライブで緊張しながらも、なかなかの演奏をしてくれました。また、2年生1バンドは2曲を披露してくれました。



今後は新入生歓迎に向けて、演奏のレパートリーを増やしていければと考えています。

○自然体験キャンプに参加！ ～JRC同好会～

10月3日（土）から14日（日）まで1泊2日で開催された市のこども会育成連合会が主催した「小美玉市子供会ジュニアリーダー研修会「仲間づくり自然体験キャンプ」」にJRC同好会の生徒が参加してきました。参加した生徒は阿部絢音さん、小野口瑠衣さん（川元璃乃さん、信田向日葵さん（以上、2年2組）、松本理紗さん（2年4組）の5名でした。

顧問の菊池先生は、「今年はコロナ禍で昨年まで参加していたボランティアがすべて中止になりました。しかし、小美玉市子ども会連合会においては徹底した感染対策を講じ、リスクの低減を図り、1泊2日のキャンプを実施しました。野外活動やキャンプファイヤー、子どもたちの活動をリーダーとして補助し、見守りました。参加した小学生の子供たちにとっても良い思い出になったようです。」と話していました。

第5位 家庭科の特色ある取り組み

○保育実習は 8 月に実施！



例年実施している家庭科の保育実習が今年も 8 月 18 日（火）と 19 日（水）の両日、感染症対策で例年通り行えない行事も多い状況の中、小美玉市はとり保育園の園長先生をはじめ職員の皆様のご協力の下、今年も保育実習を実施し 2 年生の希望者 17 名が参加しました。

今年は時間の短縮や除菌ティッシュの携帯など今年ならではの対策もしながらの実施でしたが、子どもの発達の様子を実感したり、自分の職業について考えた

りと、生徒達にとって大変有意義な時間となったようです。

○オンラインで福祉実習！



例年、生活と福祉の授業を選択している 2・3 年生は社会福祉法人陽康会 特別養護老人ホーム あいおんの里羽鳥の皆様のご協力をいただき、福祉実習を行っています。コロナウィルスの影響で交流活動が難しくなっている今年も、9 月 15 日から 11 月 10 日まで 3 回にわたって、講義や実習とオンラインでの交流活動を織り交ぜながら実施することができました。参加したのは、2 年生・3 年生の生活と福祉選択者、それぞれ 20 名。普段の授業では知ることができない現場の声や高齢者の方との交流に学ぶことの多い実習となったようです。

第 6 位 インターンシップ、事業所の協力で開催！

今年は 8 月 17 日（月）～21 日（金）の期間に 2 年生 12 名が、茨城県職業能力開発協会で実施してくださっているジュニア技能インターンシップに参加しました。各事業所の皆さん、ご協力ありがとうございました。



第7位「茨探コンテスト」に参加！ ～NHKでテレビ放映！～



小美玉市と連携し、茨城大学主催の「茨城の魅力を探求し発信する高校生コンテスト」（通称いばたん）」に取り組んでいる様子がNHKの「いば6」で紹介されました。また、本校のこの取り組みについては、茨城新聞でも2度も取り上げられました。

現在このプロジェクトには1年生の多くがチャレンジしています。

動画作成の締め切りは1月29日（金）ですので、奮って応募してください。

第8位 高大連携授業（スポーツ科学コース） 実施！

「アスリートの育成と地域に貢献できるスポーツ指導者の育成」を目標として実施してきた流通経済大学との高大連携授業は今年は10月27日（火）から11月4日（水）まで4日間にわたって実施されました。指導者とテーマは以下のとおり。



第1回 「救急救命」（流通経済大学教授 稲垣 裕美氏）

第2回 「結果論を乗り越えろ！～生理学を学ぶ意義」（同大学教授 大槻 毅氏）

第3回 「ラグビーワールドカップを通じた震災復興」（同大学准教授 向山 昌利氏）

第4回 「スポーツと政治」（同大学特任准教授 藤原 庸介氏）

第9位 波崎柳川高との交流戦開催！



11月13日の茨城県民の日に、本校と同じ体育系のコースを持つ県東地区の波崎柳川高校と部活動の交流戦を開催しました。これは開校以来初の試みで当日は、波崎柳川高校の野球部、サッカー部、バスケットボール部（男・女）が本校を訪問して各部の交流戦を行いました。



第10位 感動を与えた「卒業生による講演会」！



最後に、キャリア教育の一環として卒業生を講師として招き、講話を拝聴する企画「卒業生による講演会」について紹介しておきます。

今年の講演会は、10月7日（水）に開催され、講師として印刷物や看板などのデザインの制作会社TWENTYの代表取締役の大塚甚市郎氏（平成10年3月卒業・9回生）と4年前に本校を卒業して現在小美玉市役所の市民協働課に勤務されている原田成美氏（平成28年3月卒業・27回生）でした。

大塚氏からは、「過去は変えられる」「人生に失敗はない」ことからチャレンジすることの大切さなどを、原田氏からは「外国語に親しむこと・違う世代の人と話すこと・本を読むこと」を通し視野を広げることなどをお話いただきました。それぞれ、後輩に向けてのエールを送っていただきました。

講演会後の生徒アンケートには、「積極的にいろいろなことに挑戦したい」「小美玉市の魅力や知らなかったことを学ぶことができた」「自分を常にアップデートして高めたい」「私も日々成長できるように頑張りたい」など、先輩方の姿に大いに励まされ、心が動かされたことが伝わってくる言葉が並んでいました。



とてれた。いかでッ

番外編 コロナ禍での対応

○「だいたい体育祭」開催！



11月9日（月），文化祭が中止になってしまったために生徒会の皆さんが企画して「代替体育祭」が開催されました。「大縄跳び」や「借人競争」など趣向を凝らした種目が行なわれました。

○オンラインでの平和学習！

～JTB広島とNPO法人PCの協力で実現！～

10月に予定されていた2学年の修学旅行がコロナ禍の影響で中止になってしまったためにJTB広島とNPO法人PCの協力による平和学習が実現しました。訪れる予定だった広島市の平和公園と本校をオンラインで結び、平和の祈りを込めた折り鶴を供えていただいたり、広島に送った平和に込めたメッセージの付箋を平和公園レストハウス内のメッセージボード「希望の川」に貼っていただきました。



○メール連絡網整備される！

～休校中のコミュニケーション手段として～

当初5月の連休までだった学校の臨時休校が県知事の会見により5月末日まで延長されるに至って、学校は生徒の皆さんとの連絡手段として、学校のホームページや緊急連絡メールの送信に加えて、各クラスの生徒へ個別に送受信できるシステムを作りました。

それまで個々の生徒への連絡は電話だけでしたが、皆さんにメールアドレスを登録してもらうことにより、よりスムーズに連絡することができるようになりました。その後、私の動画によるメッセージ配信や先生方の授業配信も行われるようになり、徐々に授業の補填も行われるようになりました。

○韓国研修，今年は中止に！ ～来年度は実施の方向～

平成23年度以降，毎年希望者による韓国・中国研修を行ってきましたが，今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により，来年1月に計画していた研修を残念ながら中止としました。

この研修に参加することを楽しみにして入学してくれた1年生も多数いるとは思いますが，残念ながら今年度はそういう状況でしたので諦めざるをえません。来年度は是非実施したいと考えています。

○同窓会から学校へ寄付！ 「検定試験の補助等に使ってください！」

4月下旬，同窓会長の藤井裕一郎氏から校長に連絡があり，「新型コロナウイルス感染防止のために外出自粛を余儀なくされている在校生のために，英検などの検定試験の補助として使ってほしい。」と同窓会として総額100万円相当の寄付の申し出がありました。

また，寄付金は休校のため運行できずにいるスクールバスの運行业者及び本校生徒の昼食を提供してくれている製パン業者と弁当業者に対しても同窓会長から「お見舞い金を差し上げてほしい。」という申し出がありました。

検定試験の補助については，例年の受験者数等を踏まえ，「（1）英検・漢検・数検については，受験料の半額を補助し，（2）いずれの検定試験も2級以上の合格者には受験料の全額を補助する」ことといたしました。

その甲斐あって，今年度はどの検定試験も第2回試験が終了した時点では受験者数も合格者数も倍増しています。この措置は今年度末まで実施しますので，補助は第3回検定まで行います。



この9ヶ月を振り返ってみましたが，いかがでしたでしょうか。
来年はワクチンの開発で「コロナ禍」を打ち負かし，平和で楽しい年になることを皆さんとともに祈りいたします。